



アップリンクの設定

この章では、アップリンク タイプの設定方法について説明します。内容は次のとおりです。

- 「注意事項および制約事項」(P.3-1)
- 「アップリンク タイプの変更」(P.3-2)
- 「アップリンク設定の確認」(P.3-3)
- 「その他の関連資料」(P.3-4)
- 「アップリンク機能の履歴」(P.3-4)

注意事項および制約事項

Cisco Nexus 1010 を設定する場合は、次のガイドラインと制約事項に従ってください。

- アップリンク タイプへの変更はソフトウェアをリロードするまで反映されません。
- アップリンク タイプを変更する場合は、表 3-1 を参照してください。

表 3-1 アップリンクの使用例

アップリンク タイプ	使用例
1	Cisco Nexus 1000V VSM だけがインストールされている場合。
2	NAM だけがインストールされている場合。
3	管理トラフィック アップストリームとデータ トラフィック アップストリームを分離する必要がある場合。
4	管理トラフィック アップストリームとデータ トラフィック アップストリームを分離し、制御トラフィックとデータ トラフィックも分離する必要がある場合。

アップリンク タイプの変更

稼働中の Cisco Nexus 1010 でアップリンク タイプを変更する手順を次に示します。

始める前に

この手順を開始する前に、次のことを確認または実行する必要があります。

- EXEC モードで CLI にログインしていること。
- この手順で行った変更を有効にするために Cisco Nexus 1010 のペアをリロードすること。



注意 接続を失わないために、この手順で行った変更に対応するようアップリンク スイッチを再設定する必要があります。

- 次に、サポートされたアップリンク タイプと各タイプの Virtual LAN (VLAN; 仮想 LAN) トラフィックを伝送するポートを示します。

表 3-2 アップリンク タイプと VLAN ポート

アップリンク タイプ	管理 VLAN	コントロール VLAN	データ VLAN
1	ポート 1 および 2	ポート 1 および 2	ポート 1 および 2
2	ポート 1 および 2	ポート 1 および 2	ポート 3 ~ 6
3	ポート 1 ~ 2	ポート 3 ~ 6	ポート 3 ~ 6
4	ポート 1 ~ 2	ポート 3 ~ 4	ポート 5 ~ 6

手順の概要

1. `config t`
2. `network uplink type number`
3. `show network-uplink type`
4. `copy running-config startup-config`

手順の詳細

	コマンド	目的
ステップ 1	<code>config t</code> 例: <pre>switch# config t switch(config)#</pre>	CLI グローバル コンフィギュレーション モードを開始します。
ステップ 2	<code>network uplink type number</code> 例: <pre>switch(config)# network uplink type 2 switch(config)#</pre>	Cisco Nexus 1010 のアップリンク タイプを変更します。 <i>number</i> : 1、2、3、または 4

	コマンド	目的
ステップ 3	show network-uplink type 例: <pre>switch(config)# show network uplink type Administrative topology id: 2 Operational topology id: 1 switch(config)#</pre>	確認のためにアップリンク設定を表示します。
ステップ 4	copy running-config startup-config 例: <pre>switch(config)# copy running-config startup-config</pre>	実行コンフィギュレーションをスタートアップコンフィギュレーションにコピーすることによって、リブートおよび再起動が行われても実行コンフィギュレーションを永続的に保存します。
ステップ 5	reload 例: <pre>switch(config)# reload</pre> <p>This command will reboot the system. (y/n)? [n] y 2009 Oct 30 21:51:34 s1 %\$ VDC-1 %\$ %PLATFORM-2-PFM_SYSTEM_RESET: Manual system restart from Command Line Interface</p> <pre>switch(config)#</pre>	

例

次に、例を示します。

```
switch#
```

アップリンク設定の確認

アップリンク設定を確認するには、次のコマンドを使用します。

コマンド	目的
show network-uplink type	確認のためにアップリンク設定を表示します。 例 3-1 (P.3-3) を参照してください。

例 3-1 ネットワーク アップリンク タイプ

次に、アップリンク設定を表示する例を示します。

```
switch# show network uplink type
Administrative topology id: 2
Operational topology id: 1
switch#
```

その他の関連資料

システムレベルの HA 機能の実装に関連した追加情報については、次のセクションを参照してください。

- 「関連資料」(P.3-4)
- 「標準規格」(P.3-4)
- 「管理情報ベース (MIB)」(P.3-4)
- 「RFC」(P.3-4)

関連資料

関連項目	マニュアル タイトル
ソフトウェアの設定	「管理ソフトウェアの設定」(P.2-1)
仮想サービス ブレードの設定	「仮想サービス ブレードの設定」(P.4-1)
Cisco Nexus 1010 のインストール	『Cisco Nexus 1010 Virtual Services Appliance Installation Guide』
Cisco Nexus 1010 コマンド	『Cisco Nexus 1010 Command Reference, Release 4.0(4)SP1(1)』

標準規格

標準規格	タイトル
この機能でサポートされる新規または改訂された標準規格はありません。また、この機能による既存の標準規格サポートの変更はありません。	—

管理情報ベース (MIB)

管理情報ベース (MIB)	MIB のリンク
MIB はこの機能でサポートされません。	—

RFC

RFC	タイトル
この機能でサポートされる RFC はありません。	—

アップリンク機能の履歴

ここでは、アップリンク機能のリリース履歴について説明します。

機能名	リリース	機能情報
アップリンク	4.0(4)SP1(1)	この機能が導入されました。